

2021年度 春季審判講習会

2021年4月17日
麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部

本日の流れ

テーマ

「レフェリーとしての基礎の確認」

～2021年度公式戦担当へ向けて～

- 1 はじめに
- 2 試合の手続き ～キックオフまで～
- 3 競技規則の確認 ～ファウル、オフサイド、PK～
- 4 ユニフォーム規定
- 5 審判報告書

1 はじめに

審判員は・・・

競技規則および「サッカー競技の精神」に従って

- ・その能力の最大を尽くして
- ・競技規則の枠組の範囲で与えられた裁量権をもって決定する存在

⇔4種のコーチングに置き換えると・・・

勝利を目指して**全力を尽くす選手たち**に対して

- ・選手たちが**最大限にサッカーに集中し**
(審判員に、ではない)
- ・選手たちが**競技規則を主体的に守ってプレー**
するよう促す存在
(ゴールを目指す(守る)意図を感じる**ことが重要**)

審判員は・・・

そのような存在となるためには、
3つのステップが重要。

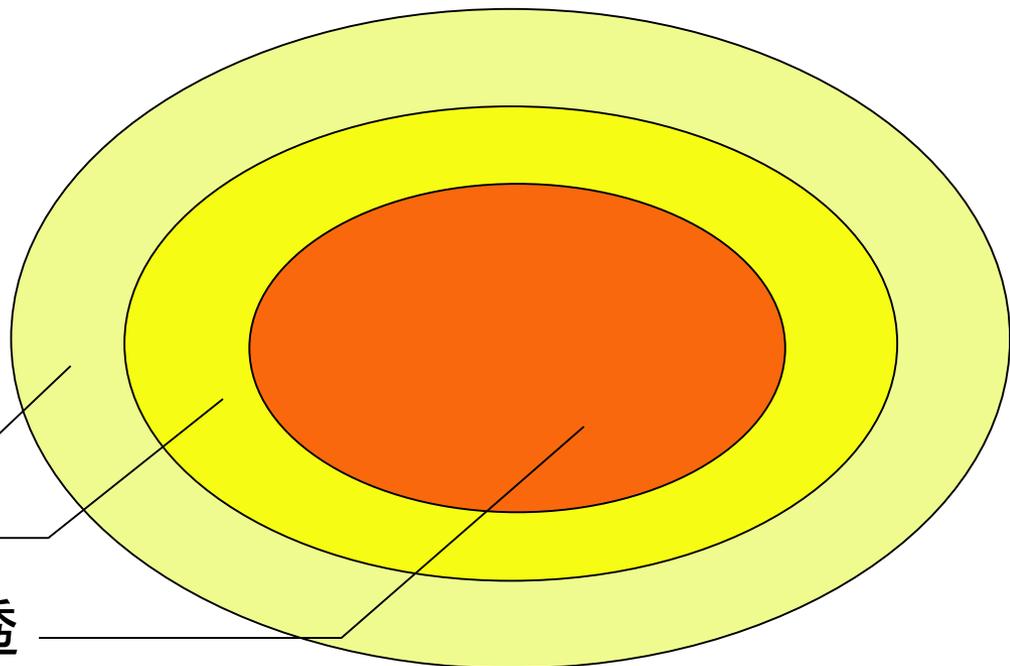
✓ 求められる存在となるために必要な
サッカー審判員の3つのステップ

競技規則の・・・

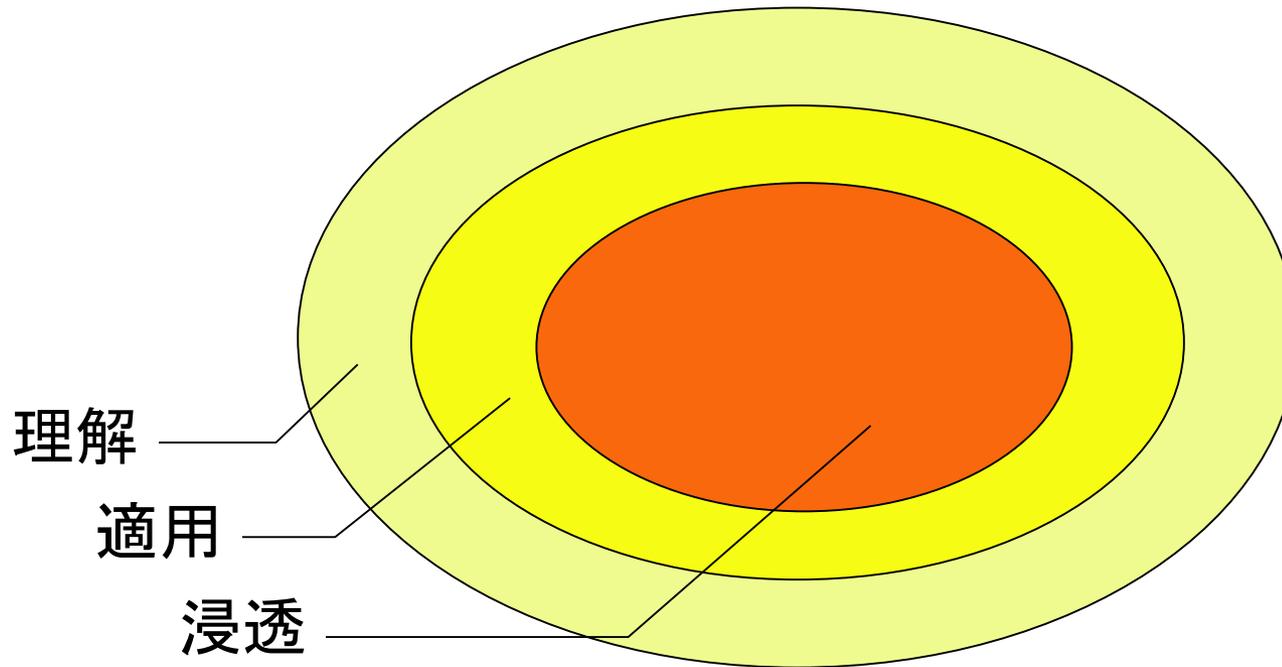
理解

適用

浸透



3つのステップ



理解：競技規則を、その理念や背景も含め正しく理解すること。
適用：目の前の事象に規則をスピーディかつ正しく適用すること。
浸透：毅然とした態度、明確なシグナルで、競技者にルールを浸透させること

★理解だけでなく、適用を目指す！★
★そして、その浸透を目指す！★

2 試合の手続き

試合の手続き

- (1) レギュレーションの確認
- (2) 大会本部に挨拶と審判員証提示
- (3) フィールドチェック
- (4) メンバーチェック
- (5) レフェリーミーティング

(1)レギュレーションの確認

- 【競技人数】 11人制
- * 交代選手のエントリーは1試合につき7名まで
 - * 1チーム7名以上で試合成立
 - * 試合開始10分前までにメンバー表を本部に提出
- 【競技規則】 日本サッカー協会「2015年度競技規則」及び大会規定の競技規則によるものとします。
- 【競技方式】 ブロック別に予選リーグを行い、勝点・得失点差・総得点・抽選により各ブロックの順位を決定。
さらに各ブロックのそれぞれ上位チーム、下位チームによる順位決定トーナメントを行い、最終順位を決定します。
- * 上位3チームが中央大会に進出できます(区内参加チームが8～10チームの場合に該当)。
- 【競技時間】 40分(20分ハーフ、ハーフタイム5分)
順位決勝トーナメントにおいては、同点の場合にはPK方式で勝敗を決定。ただし、決勝戦及び3位決定戦においては、同点の場合、5分ハーフの延長戦を行い、さらに同点の場合にはPK方式にて勝敗を決定します。
- 【選手交代】 退場した選手の再出場が可能な自由交代制
交代時には必ず交代用紙を本部に提出し、主審の承認を得てから選手の入替を行ってください。
但し、川崎市サッカー協会指定のメンバー表を提出の場合は、交代用紙は不要とします。
- 【棄権】 試合開始時刻に遅れた場合は原則として不戦敗とし、予選リーグでの不戦敗は当該チームの対戦結果を全て無効とします。また、試合開始時に選手が7名に満たない場合も棄権と見做します。
- 【その他】
- ◎ 出場チームは、原則として試合開始30分前には会場へ到着してください。
 - ◎ 選手はエントリーの有無に係らず、人数制限なくベンチ入りが可能です。スタッフは3名までです。
 - ◎ スケジュール表の割振りに従い、審判のご協力をお願いします。必ず審判服を着用し、担当試合の開始5分前までに本部に集合下さい。
 - ◎ 第1試合・第2試合のチームは、第1試合開始の1時間前に集合し、会場準備のご協力をお願いします。
 - ◎ 最終試合のチームは、後片付けのご協力をお願いします。
 - ◎ 事故や怪我等については、各チームの責任において対応下さい。
 - ◎ 各会場の使用に際しては、注意事項を厳守して下さい。

(1)レギュレーションの確認

	斎藤旗	U12リーグ	春季低学年
開催時期	4月3日～ 5月5日	4月17日～ 7月11日	4月29日～ (地区大会)
人数	予選リーグ8人制 決勝・3決11人制	8人制	8人制
試合時間	予選リーグ30分 決勝・3決 40分	30分	20分
審判員	4名 (R、A1・2、4th)	4名 (R、A1・2、4th)	4名※ (R、A1・2、4th)

※春季低学年の麻生地区予選は2審制

★いずれも2020-21シーズン競技規則を適用

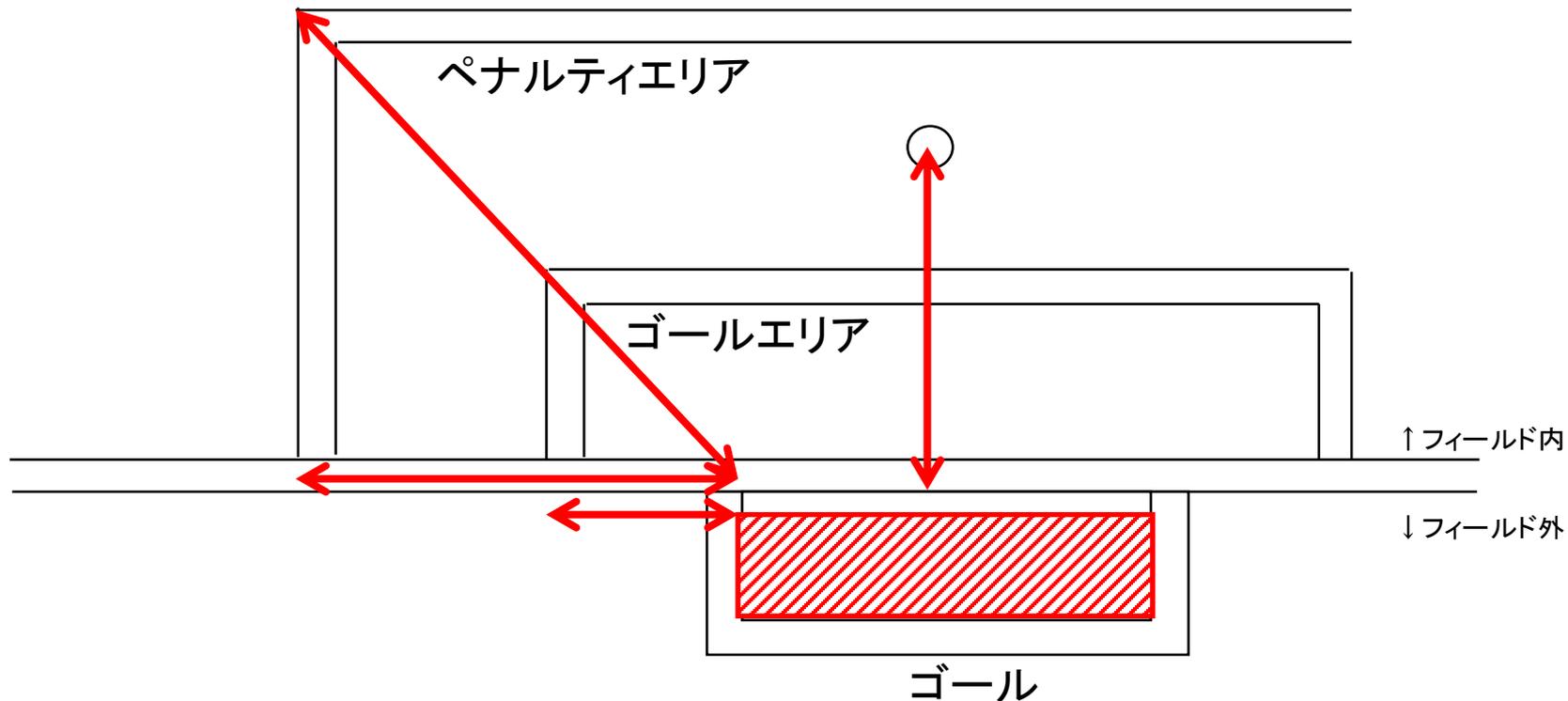
(2) 大会本部への挨拶と審判証提示

審判登録証はアプリで用意しておくと便利。
JFAIDが必要。

本部では、改めてレギュレーションの確認をしておくとお安心。

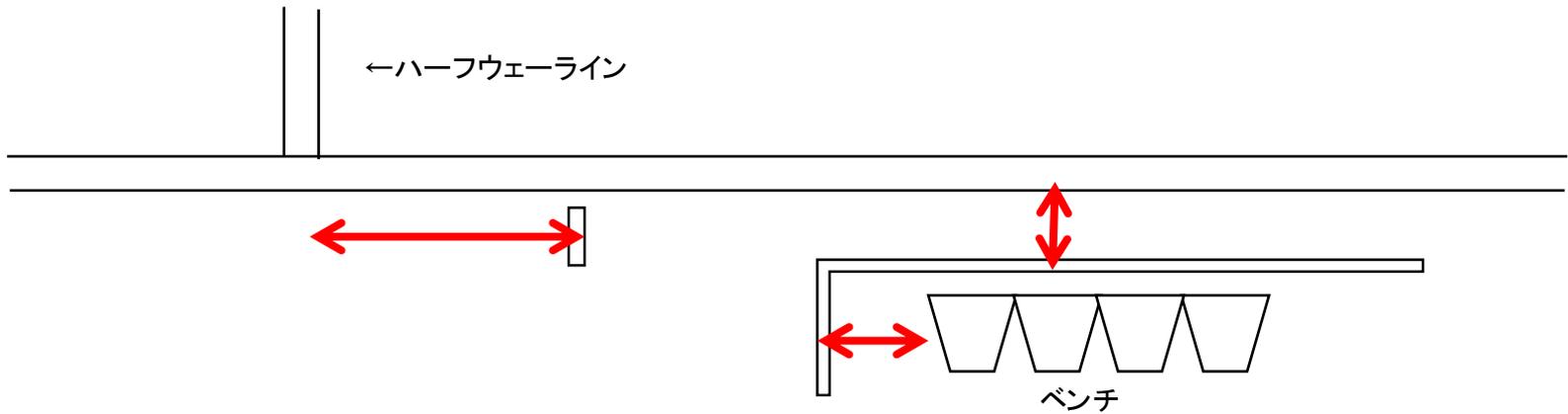


(3) フィールドチェック



- ・ペナルティエリアのライン長、ゴールエリアのライン長
- ・ペナとゴールエリアの角合わせ
- ・ペナマークとゴールラインとの距離
- ・ゴールネットの状態、ゴールポスト・バーの状態

(3) フィールドチェック



- ・交代エリアのマーク位置
- ・テクニカルエリアのマーク位置

(4) メンバーチェック

- ・メンバー表記載の名前と背番号の合致を確認
- ・用具チェックも同時に行う

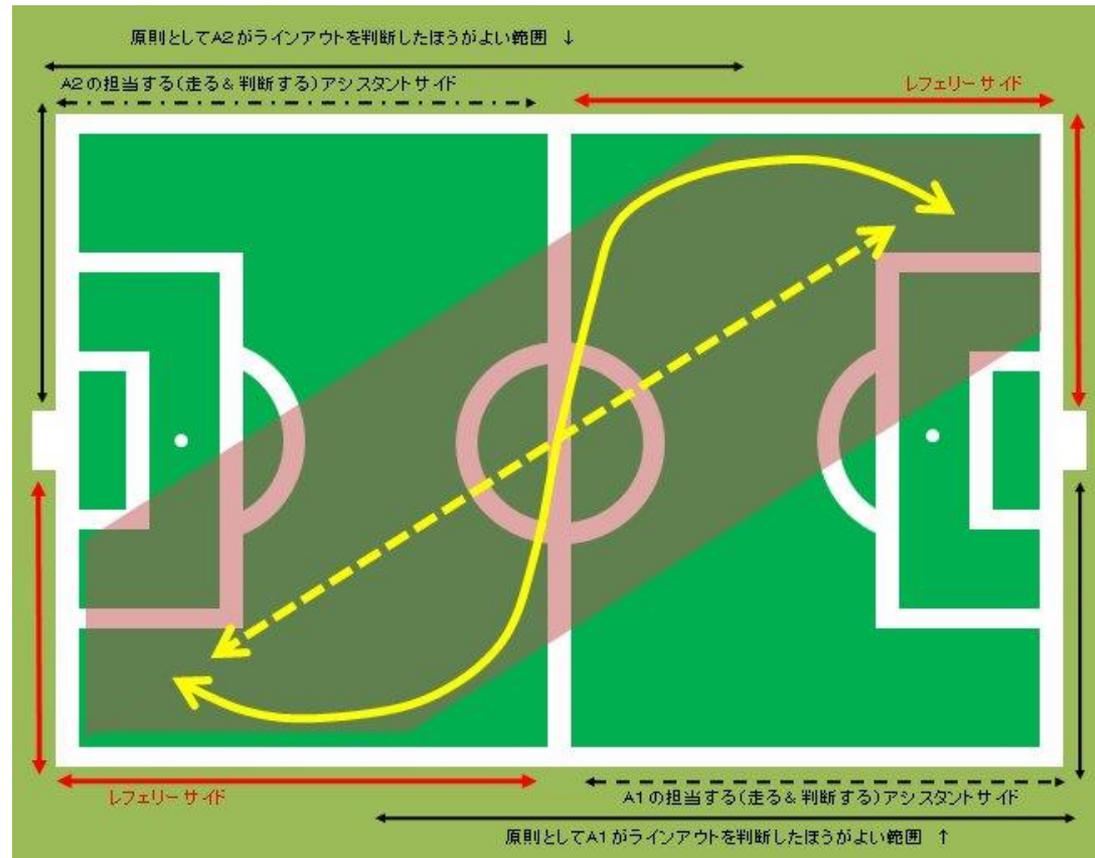
⇒並んだ順番に背番号を読み上げて、
名前を答えさせると効率的。



(5) レフェリーミーティング

- ・スローインの役割分担(手、足)
- ・ファウルの対応(PA内外、オフサイド未採用)
- ・得点に関する判定の対応
- ・オフサイドに気付かないときの対応
- ・フリーキック時の
ポジショニング
- ・アイコンタクトの
徹底

※入場時の10秒
を逃さない!



3 競技規則の確認

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇直接フリーキックとなる行為①(程度あり)

競技者が、インプレーの時、相手競技者に対して

- ✓チャージする
- ✓飛びかかる
- ✓ける、またはけろうとする
- ✓押す
- ✓打つ、または、打とうとする(頭突きを含む)
- ✓タックルする、または、挑む
- ✓つまずかせる、または、つまずかせようとする

不用意に、無謀に、または過剰な力で犯したかどうかを主審が判断

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇直接フリーキックとなる行為①(程度あり)

不用意とは・・・

注意や配慮の欠如、慎重さを欠いてプレー
⇒懲戒罰なし

無謀とは・・・

危険にさらされていることを無視、結果的に危険
となるプレー
⇒警告

過剰な力とは・・・

必要以上の力を用いて危険にさらすプレー
⇒退場

(1) 第12条 ファウルと不正行為

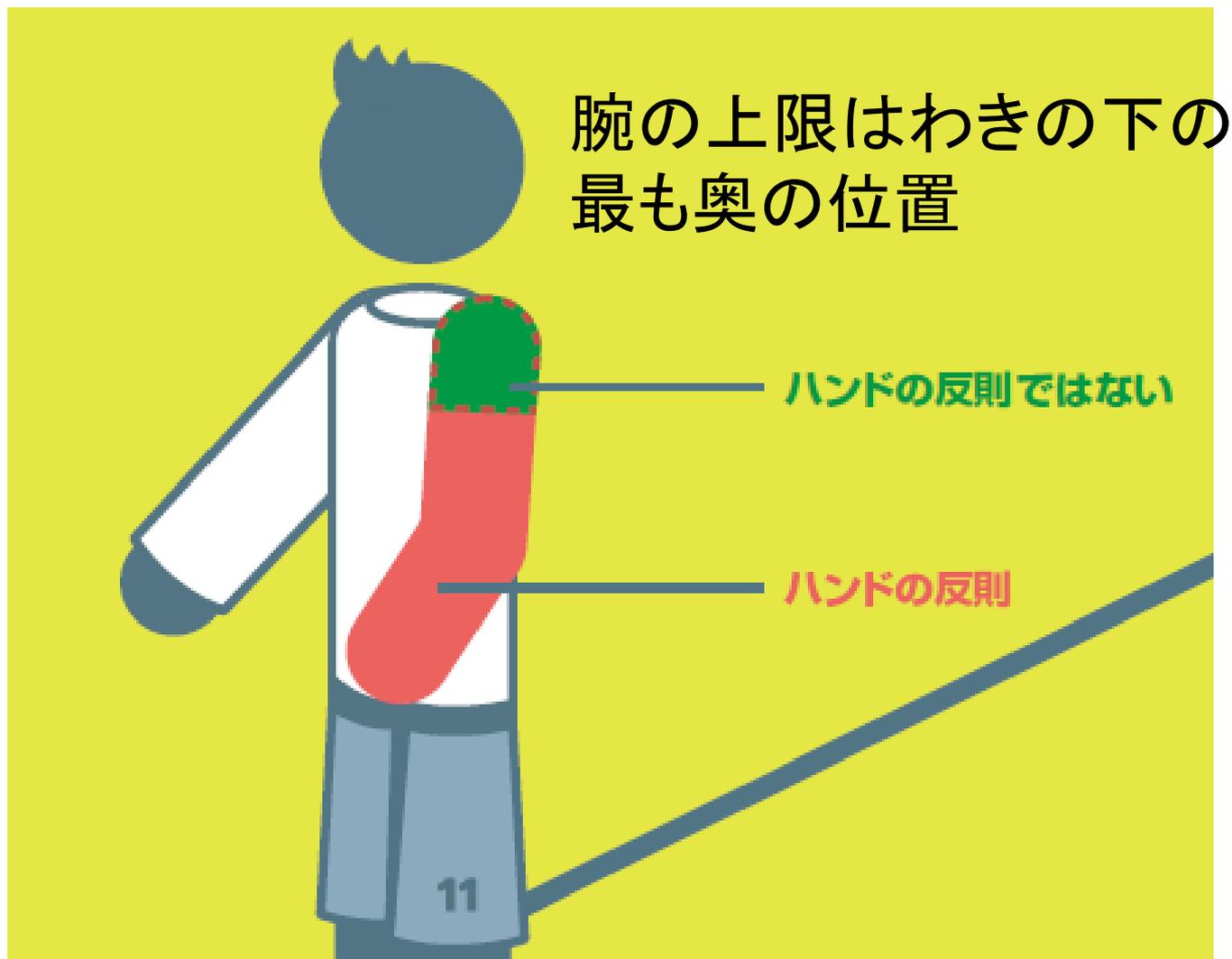
◇直接フリーキックとなる行為②(程度なし)

- ✓ハンドの反則
- ✓相手競技者を押さえる
- ✓身体的接触によって相手競技者を妨げる
- ✓人をかむ、または人につばを吐く
- ✓ボール、相手競技者または審判員に対して物を投げる、あるいは持った物をボールに当てる

判定基準に、**程度があるものと程度がないもの**があることを押さえておく！

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇ハンドの反則 ～状況による判定～



(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇ハンドの反則 ～状況による判定～

- ✓手や腕をボールの方向に動かす場合を含め、手や腕を用いて意図的にボールに触れる
- ✓偶発的であっても、ボールが自分や味方競技者の手や腕に触れた直後に
「相手競技者のゴールに得点する」
「得点の機会を作る」
- ✓偶発的であっても、手や腕から相手チームのゴールに直接得点する

得点・得点の機会につながったか否かが重要！
⇒攻撃側のハンドの反則のほうが判定は厳しい

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇ハンドの反則 ～身体的な判定～

- ✓手や腕を用いて体を不自然に大きくした
- ✓競技者の手や腕が肩の位置以上の高さにある場合はファウル。

ただし、

- ✓競技者自身・近くにいる別の競技者の頭または体から直接触れる
- ✓手や腕を用いて体を不自然に大きくしていない
- ✓競技者が倒れ、体を支えるために手や腕が体と地面の間にある場合はノーファウル。

競技者自身の体を大きくしたか否かが重要！

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇警告となる反則

- ✓ プレーの再開を遅らせる
- ✓ 言葉または行動により異議を示す
- ✓ 主審の承認を得ずフィールドに入る、復帰する、意図的にフィールドから離れる
- ✓ 規定の距離を守らない
- ✓ 繰り返し反則する
- ✓ 反スポーツ的行為を犯す

試合の状況に応じ、競技者の意図を的確に捉えて、**警告を出す勇気を持つ**！

競技者のみならず、**交代要員、交代して退いた競技者**に対しても警告を出せる。

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇反スポーツ的行為 ～解釈の整理～

- ✓シミュレーション
- ✓直接フリーキックとなる反則を無謀に行う
- ✓大きなチャンスとなる攻撃を妨害する(ボールにプレーしようとしてペナルティキックとなった場合を除く)
- ✓決定的な得点の機会を阻止する(ボールにプレーしようとしてペナルティキックとなった場合に限る)
- ✓手または腕を使って得点しようと試みる(失敗した場合も警告)
- ✓言葉で相手競技者を惑わす

(1) 第12条 ファウルと不正行為

◇退場となる反則

- ✓ 決定的な得点の機会を阻止する(ハンドの反則の場合)
- ✓ 決定的な得点の機会を阻止する(ボールにプレーしようとしてPKとなった場合を除く)
- ✓ 著しく不正なプレーを犯す
- ✓ 乱暴な行為を犯す
- ✓ 同じ試合の中で2つ目の警告を受ける
片足・両足で前・横・後ろから突進した場合
⇒ 著しく不正なプレー！
- ボールに挑まず、粗暴な行為を行う(行おうとする)
⇒ 乱暴な行為！

すばやいフリーキック -第12条-

- ・主審が警告または退場と判断した場合、懲戒の罰則の処置をし終えるまでプレーを再開させてはならない。

ただし、

- ・主審が懲戒の罰則の手続きを進めておらず、

- ・すばやくフリーキックを行って、
明らかな得点の機会を得た場合 を除く

- ・懲戒の罰則はプレーが停止されたときに行われる。
- ・適用された反則が、

- ①決定的な得点の機会の阻止

- ②大きなチャンスとなる攻撃の妨害であった場合

競技者は ①警告される②警告されないことになる！

(2) 第11条 オフサイド

◇オフサイドポジション

- ✓ 頭、胴体、または足の一部でも、相手競技者のハーフ内、ボール及び後方から2人目の相手競技者より相手ゴールラインに近い
- ✓ すべての競技者の手および腕は含まれない

オフサイドポジションにいることは、反則ではない！

◇オフサイドの反則

味方によってプレーされたか触れられた「瞬間」

オフサイドポジションにいて、

- ✓ ボールをプレーする、触れる
- ✓ 相手競技者を妨害する
- ✓ その位置にいることによって利益を得る

(2) 第11条 オフサイド

◇オフサイドにならない

✓相手競技者が**意図的にプレーしたボール**を受けたとき

※意図的なハンドの反則は含む。セーブは含まない。

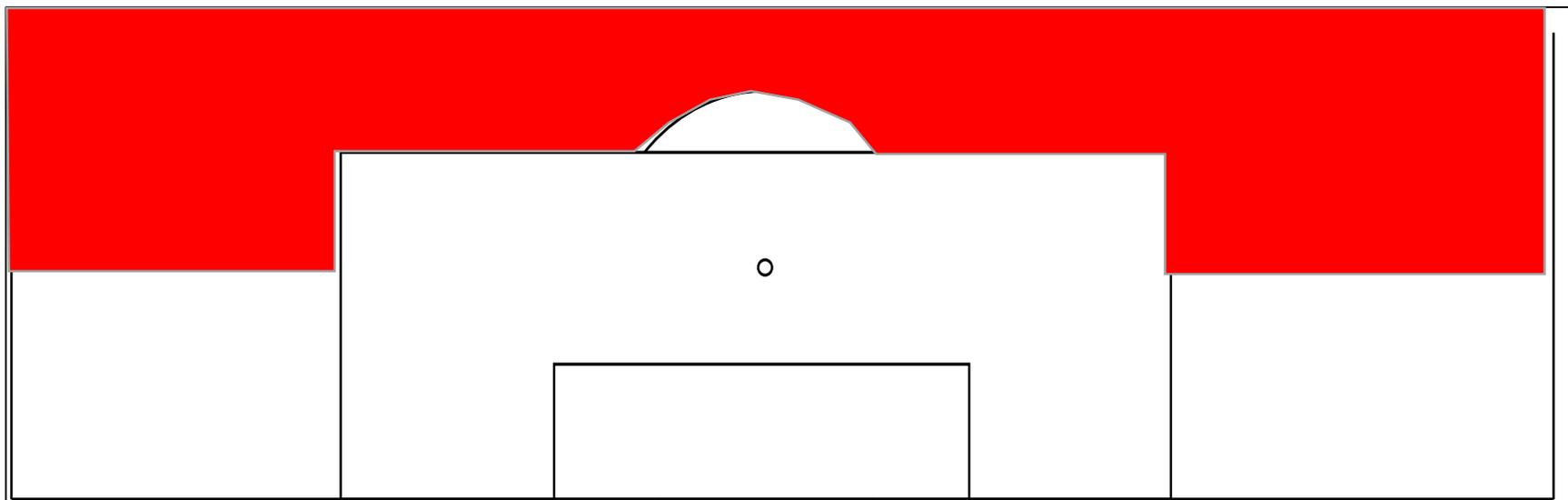
※そのプレーが成功したか否かは無関係。

✓ゴールキック、スローイン、コーナーキック

(3) 第14条 ペナルティキック

◇試合中のペナルティキック、キッカーとキーパー以外の位置取り

- ✓ペナルティマークから7m
- ✓ペナルティマークの後方
- ✓フィールドの中
- ✓ペナルティエリアの外



ペナルティーキックの結果

	ゴール	ノーゴール
攻撃側競技者による侵入	キックを再び行う	間接フリーキック
守備側競技者による侵入	ゴール	ペナルティーキックを再び行う
<u>守備側競技者および攻撃側競技者による侵入</u>	キックを再び行う	キックを再び行う
ゴールキーパーによる反則	ゴール	セーブされない 再び行わない セーブされる キックを再び行う 以降の反則で警告
<u>ゴールキーパーおよびキッカーが同時に反則</u>	<u>間接フリーキック</u> <u>+キッカーに警告</u>	間接FK+キッカーに警告
ボールが後方にけられた	間接フリーキック	間接フリーキック
不正なフェイント	間接フリーキック +キッカーに警告	間接フリーキック +キッカーに警告
特定されていないキッカー	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告	間接フリーキック +特定されていないキッカーに警告

ペナルティキック -第14条-

- ・ボールが蹴られるとき、
守備側チームのゴールキーパーは、

少なくとも片足の一部

をゴールラインに 触れさせているか、

ゴールラインの 上に位置 させていなければならない。

(4) その他のポイント

キックオフ -第8条-

- ・コイントスに勝ったチームが、
前半に攻めるゴールか、
またはキックオフを行うかを決める。
- ・この結果により、相手チームがキックオフを行う、または前半に攻めるゴールを決める。
- ・前半に攻めるゴールを決めたチームは、後半開始のキックオフを行う。

ドロップボール -第8条-

- ・ボールが守備側チームのペナルティエリア内にあった、またはボールが最後に触れられたのがペナルティエリア内であった。

守備側ゴールキーパーにドロップする

- ・その他のすべてのケースにおいて、

ボールが競技者、外的要因、審判員に触れた位置

最後にボールに触れたチームの競技者の一人に

- ・他のすべての競技者は、ボールがインプレーになるまで、

4m以上ボールから離れる

フリーキックの壁 -第13条-

- ・ボールがインプレーになるまで、すべての相手競技者は、7m以上ボールから離れる&ペナルティエリア内で与えられた守備側のフリーキックの時はペナルティエリアの外にいないなければならない。

- ① **3人** 以上の守備側チームの競技者が② **壁** を作った時、全ての攻撃側のチームの競技者はボールがインプレーになるまで②から③ **1m** 以上離れていなければならない。

フリーキックが行われるとき、上記のように壁から離れていない場合、**間接フリーキック** が与えられる。

守備側PA内での守備側チームのプレー再開

- ・ボールが

蹴られて明らかに動いた

ときにインプレーとなる。

- ・ゴールキック、フリーキックが行われるとき、相手競技者がペナルティエリアから出る時間がなく残っていた場合、主審は

プレーを続けさせることができる

- ・ペナルティエリア内にいる相手競技者が、

インプレーになる前にボールに触れるまたは挑む

場合、キックは再び行われる。

チーム役員への懲戒罰 -第12条-

- ・警告となる場合(例)

自分のチームのプレーの再開を遅らせる
言葉または行動により異議を示す
(ボトルなどを投げる、
リスペクトを欠いた身振りや皮肉な拍手など)

- ・退場となる場合(例)

相手チームのプレーの再開を遅らせる
意図的にテクニカルエリアを出て、異議を示す、
挑発したり相手の感情を刺激する態度をとる

- ・反則があり、その者を特定できない場合、

テクニカルエリア内にいる上位のコーチが
罰則を受ける

4 ユニフォーム規定

ユニフォーム規定に関する説明

川崎市サッカー協会第4種委員会が主催する大会は以下規定に従って運営します。

競技規則	ルール(大会要項)	Category			備考(補足説明)	※が変更箇所
		U-8	U-10	U-12		
第4条 競技者の用具	アンダーショーツおよびタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾と同じ色でなければならない。	※対象外			・アンダーショーツおよびタイツはショーツの主たる色と異なっていても、着用する全員が同じ色であれば良い。また、着用している選手・していない選手の混在も構わない。 ・GKのアンダーショーツおよびタイツはチームと同一の物、またはGKユニフォームと同一の物を着用することを認める。	
	アンダーシャツは、次のものとする:シャツの各袖の主たる色と同じ色で、1色とする。または、シャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。	※対象外			・アンダーシャツは、シャツの各袖の主たる色と異なっていても、着用する全員が同じ色であれば良い。また、着用している選手・していない選手の混在も構わない。 ・GKのアンダーシャツはチームと同一の物、またはGKユニフォームと同一の物を着用することを認める。	
	ヘッドカバーを着用する場合、それは: ・黒または、シャツの主たる色と同じでなければならない(同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする)。 ・競技者の用具として、見苦しくない外見であること。 ・シャツと一体となっていてはならない。	※対象外			・ヘッドカバー、スポーツ用眼鏡、怪我などの際のサポーター等は、安全な材質であれば着用を認める。 ・ヘッドカバーを着用する場合、チーム内で色を統一する事。	
	ソックス - テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、それは着用する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。	※対象外			・ソックスの外部にテープまたはソックス止めを着用する場合、ソックスと同じ色でなくても良い。	
川崎市サッカー協会第4種委員会ユニフォーム規定	【FPのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	対象外 ピブスも可		ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。	・主たる色が黒のシャツは審判服と類似するため認めない。 ・対戦チームとユニフォームの色彩が類似する場合、事前にチーム同士で話し合いを行い、本部の確認を経た後、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ・ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の色彩が相手FPおよびGKと類似しないよう変更する。 ・正・副2組のユニフォームを持参していなくて着替えることが出来ない場合、不戦敗(0-3、勝点-1)とする。	
	【GKのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	対象外 ピブスも可		ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。	・主たる色が黒のシャツは審判服と類似するため認めない。 ※GKのショーツ、ソックスはFPと同系色でも良い。 ※GKの保護用具(プロテクター等)は、同色でなくても認める。 ・対戦チームとユニフォームの色彩が類似する場合、事前にチーム同士で話し合いを行い、本部の確認を経た後、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ・ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の色彩が相手FPおよびGKと類似しないよう変更する。 ※両チームのGKのシャツが同色で、両者が他のシャツと変えることができない場合でも競技を始めることを認める。 ・正・副2組のユニフォームを持参していなくて着替えることが出来ない場合、不戦敗(0-3、勝点-1)とする。	
	GKの正と副のユニフォームの「ショーツ」「ソックス」を同じ色にする事は認められない。 ユニフォームへの表示として、シャツの前面および背面には選手番号を表示しなければならない。	対象外		ユニフォーム規定および大会要項に従った運用とする。	・ユニフォーム規定に則り、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せにおいて、異なる色彩で正と副のユニフォームを準備する。	
	試合前に提出する「メンバー用紙」に記載する場合、「1選手、1選手番号」とする。		川崎市サッカー協会主催の大会は、メンバー表提出時に「/」で「1選手に2選手番号」を認める。	県協会主催の大会は、県協会およびユニフォーム規定に従った運用とする。 (緩和の方向)	・現状、前面および背面に表示していない場合が多く、財政的な面の負担軽減のため。	※県協会の検討待ち。
大会要項(補足)	試合を決定するペナルティマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースにおいて、PK戦に限り、FPと識別できるようにシャツのみ着替える事とする。		川崎市サッカー協会主催の大会は、シャツを着替える必要無しとする。	・試合を決定するペナルティマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースでは、ユニフォームの交換に時間を要するため。		

5 審判報告書

審判報告書

審判報告書

←正式名称で！

競技会名 _____

試合時間 _____ 分 延長戦 _____ 分 会場 _____

対戦 A _____ 対 B _____

結果 : _____ (_____ : _____) (_____ : _____) 延長(_____ : _____) (_____ : _____)

←ない場合は
×で空白を埋める！

日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分キックオフ

主審 _____ 所属 _____

↑実キックオフ時刻を記載！

第4の審判員 _____ 所属 _____

_____ 所属 _____

競技場、用具の状態 _____

←基本は「競技場、用具、共に良好」

警告(競技者・交代要員)

	時間	チーム	番号	氏名	理由 ※()内に[反/ラ/異/繰/遅/距/入/去]を記入し、具体的事由を記入
1					()
2					()
3					()
4					()
5					()
6					()
7					()
8					()

審判報告書

退場(競技者・交代要員) (詳細は重要事項報告書に記入し提出する。但し警告2についてはこの報告書のみでよい。)

	時間	チーム	番号	氏名	理由 ※不正、乱暴、つば、阻止(手)、阻止(他)、暴言、警告2
1					
2					
3					

警告・退場(チーム役員)

	警・退	時間	チーム	役職	氏名	理由 (警告)※反、異、遅、を記入し、具体的事由を記入 (退場)※乱暴、つば、暴言、警告2、詳細は重要事項に記入
1						
2						←チーム役員への懲戒罰を記載
3						

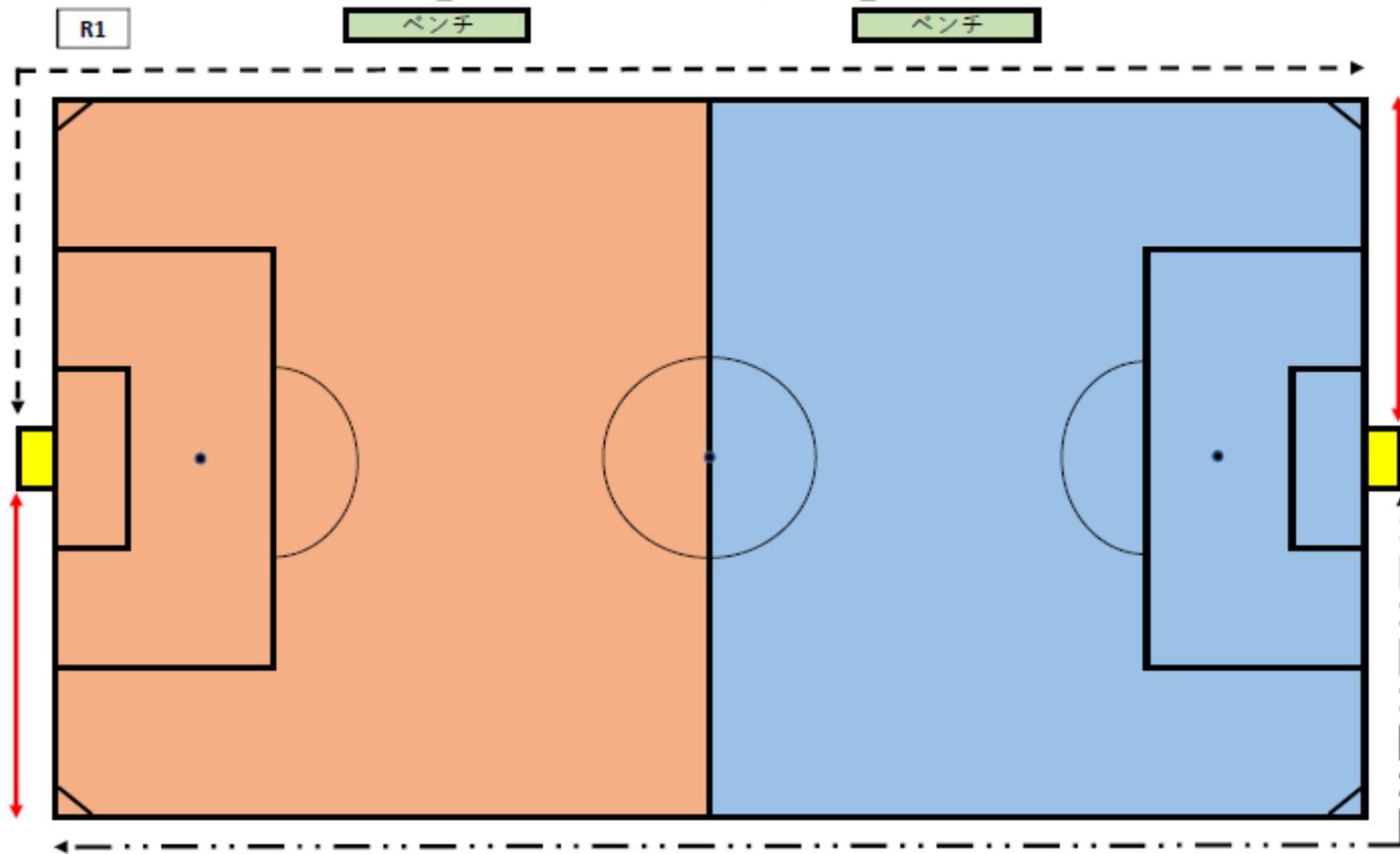
その他の報告事項

以上の通り報告いたします。 _____ 年 _____ 月 _____ 日 主審署名 _____

サッカー協会会長殿

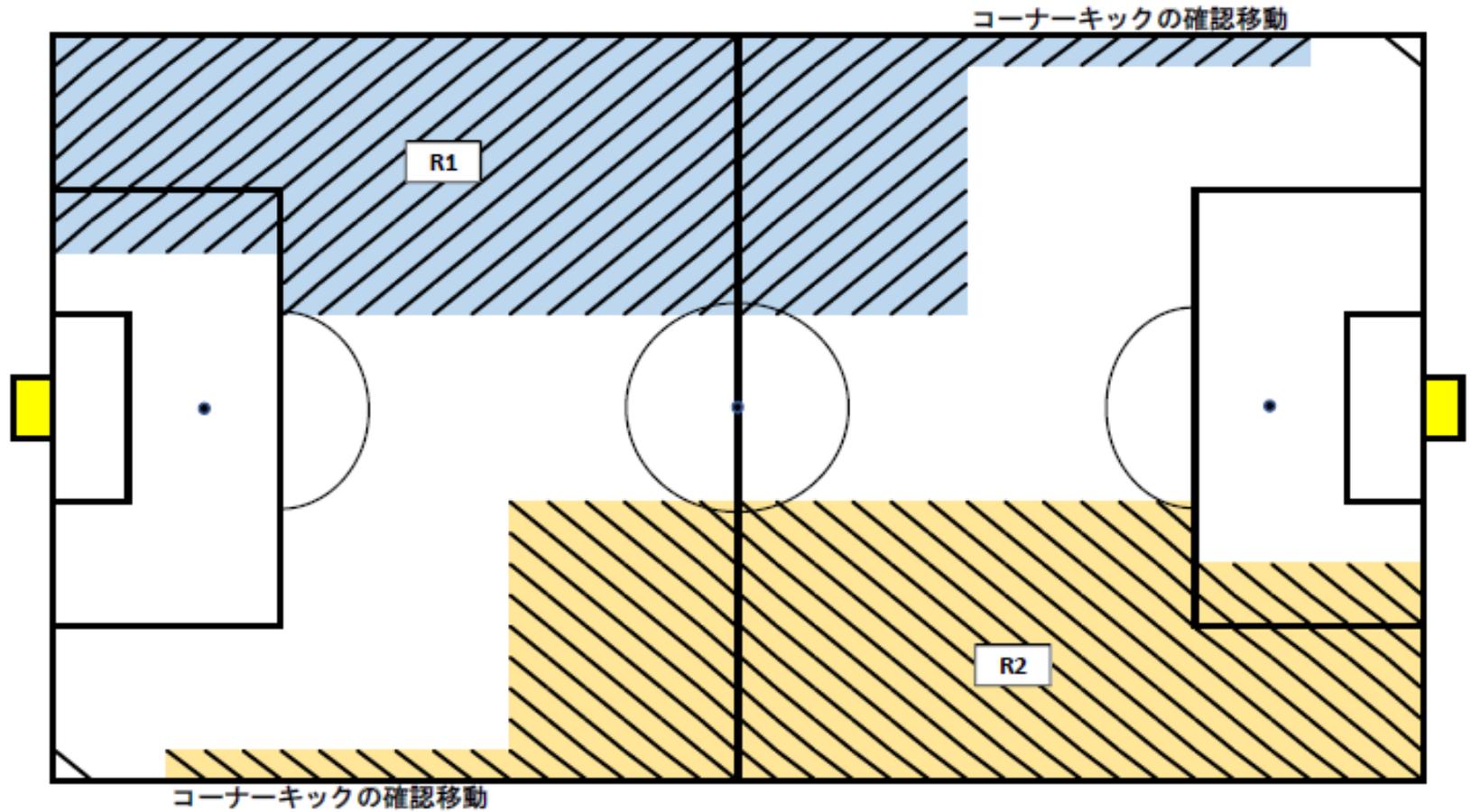
(参考) 2審制のポイント

【R1とR2の担当】



- ・ R1がベンチ側、R2は反対側を担当する。
 - ・ R1は ←-----→ のタッチラインとゴールラインの判定を担当する。
 - ・ R2は ←·····→ のタッチラインとゴールラインの判定を担当する。
 - ・ R1とR2は、 ←————→ のゴールラインの判定を担当する。（角度や距離を考慮し、より良いRが判定する）
-
- ・ R1は ■側のオフサイドラインを注視する
 - ・ R2は ■側のオフサイドラインを注視する
- ※ 守備側の審判はオフサイドラインをキープする
(守備側の後方から2人目の競技者が相手フィールド内に入った場合は、注視する)

【審判の移動範囲】

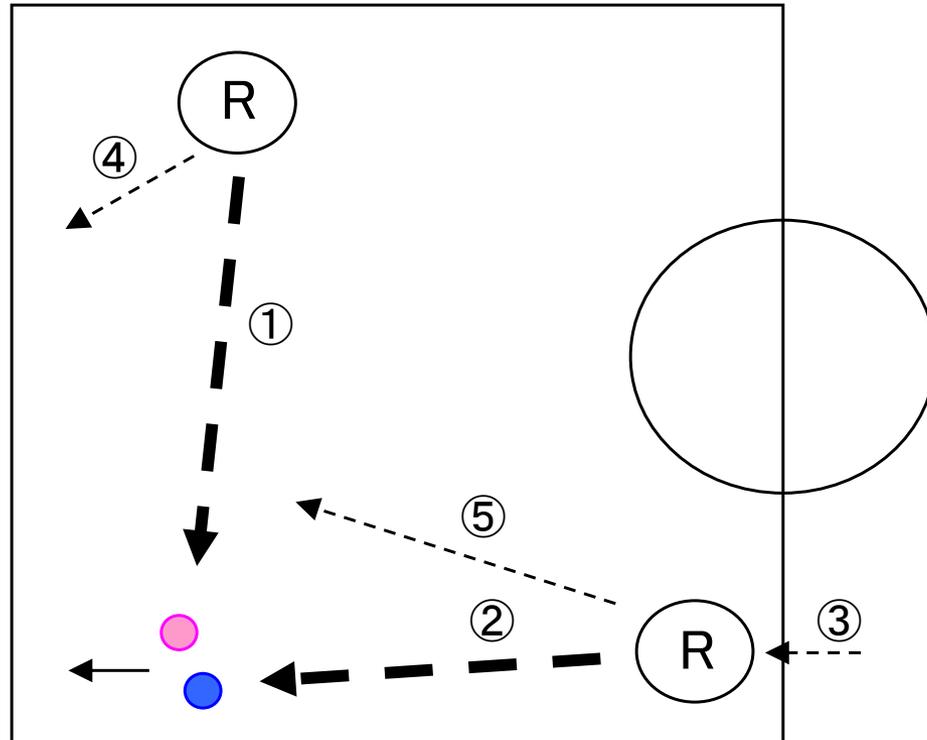


- ・ R 1は概ね  のエリア内を移動範囲とする
- ・ R 2は概ね  のエリア内を移動範囲とする

2審制の役割分担

- ✓タイムキーパーおよびキックオフのホイッスルをどちらが行うかを事前に決める
- ✓ファウルについては争点と距離に関わらず、認識したほうが判定する義務を負う
(遠いからと言って任せない)
- ✓自身のサイドのオフサイド監視・判定を行う
- ✓自身のサイドのスローイン・GK・CKの判定を行うが、相互に監視し適宜援助を行う
- ✓アドバンテージを適用したが、もう一方のレフェリーが笛を吹いた場合は、プレーを停止する
- ✓警告・退場の判定は、当該行為に対応したレフェリーが判定する(助言は受けても良い)

(役割分担の例)



- ①オフサイドの監視＋ファウルの監視
- ②タッチラインの監視＋ファウルの監視
- ③オフサイドライン上にポジショニングする必要はない
- ④争点に近づくために、ゴールに対し直線的な動き
- ⑤コーナーキック時はゴール前の監視に協力

(動画視聴)
2019-20競技規則改正

麻生区ジュニアサッカー連盟審判部

審判部

田中 審判部長 真福寺FC
安藤氏 百合丘子どもSC 審判担当
加藤氏 南百合丘SC 代表
川崎市サッカー協会副理事長
酒井氏 真福寺FC
馬場氏 柿生SC
渡邊氏 柿生SC

レフェリー サポーター

10名程度 麻生区の各チームより有志

主な活動内容

- (1) 審判講習会(座学4月)
- (2) 春季低学年大会麻生地区予選
- (3) NKリーグ5年生大会
- (4) 審判講習会(実技9月、座学10月)
- (5) NKリーグ3年生大会
- (6) 新人戦5年生大会麻生地区予選
- (7) トレセン大会審判派遣



麻生区レフェリーサポート制度について

一緒に、レフェリー、やろう！

麻生区では、主催大会を数多く実施しています。子どもたちの熱い戦いをサポートし、成長を支える黒子となるのがレフェリーです。

ぜひ私たちと一緒に、麻生区のジュニアサッカーを盛り上げませんか！

<募集概要>

- 主管 : 麻生区ジュニアサッカー連盟（以下「連盟」） 審判部
- 活動内容 : 連盟主催試合・トレセン試合の審判対応、審判講習会補助 等
- 参加要件 : 連盟所属チーム関係者（コーチ、父母、選手、OB）であり、所属チームの了承のもとで活動を許される方。
サッカー審判員資格を保有している方。（今後取得を検討されている方も応相談）
- 応募方法 : 連盟審判部 田中までメールにて応募ください becks.hajime@gmail.com

ご清聴、ありがとうございました！



麻生区ジュニアサッカー連盟
審判部 田中

ルールに関するご質問等お気軽にお問い合わせください
becks.hajime@gmail.com